



今年発足10周年を迎える仁愛大学同窓会『世灯会』。数々の個性的なOBを輩出してきた仁愛大学のOBたちを迎えて話をお聞きする企画。今回は2期生の笠松さん、5期生の浜崎さんが登場。世代を超えて、大いに盛り上がりました。

笠松 仁愛大学に入学していきなり驚かされるのが、学生たちが手作りで運営する入学式だね。

浜崎 凄く雰囲気良くて、「ああ良い学校に入ったな」と感動しちゃいますね。

笠松 僕は入学式とか世灯祭とか、学校行事を仕切る「校友会」の副会長を務めていたんだけど、とにかくめちゃくちゃ忙しい学生時代だった。

浜崎 えっ、僕も会長やってたんですよ！

笠松 ホントに!?

浜崎 はい、世灯祭でベストカップル賞をとったのが一番の思い出です。

笠松 なに！俺もベストカップル賞もらったよ(爆笑)。賞品にUSJのチケット頂いたりして。

浜崎 凄い共通点！笠松さんの頃はアーティストとか呼ばれました？

笠松 ソールドアウト。ケツメイシを呼びたかったけど予算が全く合わなくて。でも、無理っぽいアーティストにダメ元で一度はアタックするよね(笑)。

浜崎 その気持ちとっても解ります。僕らの頃はメガリユウでした。

笠松 学生時代に苦労したことは？

浜崎 校友会の仕事ってキツかったけど、充実してました。ゼミの教授が厳しくて、「行動に優先順位を付ける！」とよく怒られてました。でも、この経験が今も活きていると実感してます。

笠松 僕は副会長として、とにかくサポートに徹してた。野球をやっていて、ゼミがあって、忙しかったけど“一生懸命やっていたら何とかなる”ということを経験した。

忙しくても
一生懸命やれば
何とかなる。

行動に優先順位を
付けることが大切。



浜崎裕太さん

人間学部心理学科卒。「子どもに触れある仕事に就きたい」という夢を叶え、在学中に学習ボランティアで訪れた児童養護施設「一陽」勤務。



笠松俊秀さん

人間学部コミュニケーション学科卒。卒業後、日刊県民福井に入社。現在はスポーツ取材を担当し、現場のリアルな声を届ける仕事に就いている。



「校友会」の会長、副会長という役職を経験してきたことが分かり、世代を超えて当時の話題で盛り上がりました

仁愛大学同窓会『世灯会』は10周年！

仁愛大学は2001年4月開学。そして1期生が卒業した2005年4月に、同窓会『世灯会』が誕生しました。

11期生が卒業する2015年は『世灯会』の10周年です。その時点の会員数は約2500人で、最年長の1期生は33歳。そう、『世灯会』はこれからの福井を担う若い世代の集まりなんです。私たち卒業生が繋がり合えば、何か新しい面白いコトがきっと生み出せるはずですよ。

秋には10周年記念イベントも予定しています。同窓生のみならず、ぜひ一緒に集みましょう。



『世灯会』ページに「いいね」を！

『世灯会』Facebookページをご覧ください！
イベントや同窓生の今、そして現在の大学の
情報などを日々更新しています。



www.facebook.com/jindai.dousokai



〒915-8586 福井県越前市大手町3-1-1

仁愛大学同窓会「世灯会」事務局

E-mail dosokai@jindai.ac.jp www.jindai-ainet.jp/

浜崎 今の仕事は子どもたちの心のケアをすること。2歳から18歳までの幅広い年代の子どもたちをサポートしています。辛いことももちろんありますが、ウチの施設から巣立った子が頑張っている姿を見せに、時々顔を出してくれるんです。

笠松 それたまらないね。僕も特に週末は体一つでは足りないくらい忙しく取材してるけど、スポーツの喜びや選手の隠された魅力を伝えたい、という使命感を持ってやってる。

浜崎 今年は世灯会10周年で同窓会の会員が一同に会するんです。色んな企画も予定しているんですよ！

笠松 世代が違う人たちも、今日みたいにすぐに盛り上がるだろうね。

浜崎 楽しみになってきましたね！